

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日:令和 7 年 2 月 3 日

公表:令和 7 年 2 月 10 日

事業所名: 児童デイすぎと ちいさな木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	6	1	1	広ければもっと良いと思う	面積基準は満たしており、整理整頓に努め てきました。さらに工夫できることがありまし たら対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4	1	職員間の連携で助け合っているが病欠時 などは不足している	職員補充については様々な事情により迅速な対応が出来ず申し訳ありません。 助け合いながら健康に留意し、今後も助けあっていたいと考えております。また 病欠で職員不足の中での児童の受け入れについてはリスク検討をし状況によっ ては保ご家庭にもご相談させていただくつもりです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	6	1	1	入り口前が坂になっており危ないと感じる。	自社物件ではないため大掛かりな工事は困難であ りますので、人的防衛に努め、また簡易工事の方法 があるか検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いるか	7	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	7	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	7	1		会報などパートに配布されない。 閲覧する機会はあるが時間が足りない	会報、つまり通信については職員にも配布さ れておりません。申し出ていただければ事業 所に保管してありますので時間を作り閲覧し ていただければと思います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	4	2	2	外部評価しているかわからない	申し訳ありません。外部の評価を 受けておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	7		1	かなり少ないと感じる	多機能施設ということもあり、時間の制約はあるかと思えます。そのため テーマごとにオンライン研修を用意させていただいたり、夏と木と合 同で先生と組んで研修も行い、週末に職員に研修に行ってもらい共有 してきました。今後も出来るだけ研修の機会を増やしていきたいと思 いますが、職員からもやりたいテーマがありましたら伝えて下さい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 しているか	8				
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いるか	7	1		日々の療育の中でクリアした課題は、更新 し次の課題に取り組んでいる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	7	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	8			計画書を作りつつ、日々の療育の中で次の 活動を進めている。 主に集団活動が多いが、必要な児童につ いては個別課題に取り組んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認しているか	8				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日:令和 7年2月3日

公表:令和7年2月10日

事業所名: 児童デイすぎと ちいさな木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7		1		
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			不明の場合はすぐに電話をかけて確認している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	1	現在医療的ケア児はいないが、必要に応じて、父母を通じて医師とコミュニケーションをとっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	1	ちいさな木は小学生までの放課後等デイサービスとなっているため行っていない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	4	散歩や公園であった場合は挨拶をしたり話をしたりなど交流はある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日:令和 7 年 2 月 3 日

公表:令和 7 年 2 月 10 日

事業所名: 児童デイすぎと ちいさな木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	3	保護者会の開催が数年に一度になっている。	今年度の3月に開催予定です
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				
	35	個人情報に十分注意しているか	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8			クリスマス会には近隣の方やボランティアの方を招いている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		契約時にマニュアルをお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		1	現在は身体拘束が必要な児童はいない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			現在は食物アレルギーを持つ利用者はいない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年2月10日

アンケート期間：令和7年1月6日～令和7年2月7日

事業所名：児童デイすぎと ちいさな木

保護者等数(児童数)11名 回収数 10名 割合 90%

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1		体が大きくなってきたので狭いかもしれない ちいさな木の室内は狭いかもしれません	実際ちいさな木の室内面積の方がいちばん星の面積より広いのが実情です。整理整頓をし、工夫して室内を広く保てるようにまいりま
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	10				
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	2		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	10				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9		1		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	3	あったらうれしいです	数年保護者会が開催されず申し訳ありませんでした。今年度は開催する予定で準備しております。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			連絡帳に書いていただいているのでわかりやす	子どもを見ながらの記載ですので限りはありますが今後もできる限りお伝えし、重要なことなどはお電話などで補充させていただきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2		通信をいつも見せてもらっている。写真がたくさんあり子どももよく見ている	お子さんもお家で見てくださりうれしく思います。今後も状況が伝わる楽しい通信の作成を心がけていきます。
14	個人情報に十分注意しているか	10					
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2			
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10			毎週楽しみにしている。	ありがとうございます。支援者にとっていちばん嬉しい言葉です。今後もお子さんが行きたい、楽しみに来てくれるデイにしていきたいと思ひます。
	18	事業所の支援に満足しているか	10			週一回の通所の中でよく見てもらっていてありがたい。	ありがとうございます。これからもひとりひとりに目を配ることの出来るデイにしていきたいと思ひます。もし気づかないところがありましたら遠慮なく申し出ください。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

○事業所名	児童デイすぎと ちいさな木			
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		～	2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～	2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	雨天以外は毎日公園に出かけているので、なかなか友達と外で遊ぶ経験を持つことが難しい子どもにとって(保護者の方が毎日公園に連れて行くのが難しい生活にあって)心身の開放と友達を遊ぶ経験を毎日することで子ども同士の関わりやルールを学ぶことが出来る。雨の日は	時々「ちいさな木」と「いちばん星」と同じ公園で合同で遊び、多年齢の子どもと触れ合い遊ぶことで、相手の強弱を理解し、優しさが生まれるようにしたり、大きくなったら次のステップのデイに移行する意識や憧れが持てるようにしている。また身体が不器用であったり、ボディイメージの弱いお子さんでも遊具で遊ぶことになり身体の使い方を学べるようにしている。最近ではジャングルジムのある公園を見つけ、ジャングルジムでの鬼ごっこで身体のいろいろな機能を使うことが出来る。また雨の日でもサーキット遊びをして身体を動かしたり、昔の伝承遊びを楽しんでいる。さらに連携している幼稚園よりロールマットを寄贈	土手に遊びに行き、滑り落ちる楽しさと土手の登り降りの運動が出来る土手滑りを取り入れていきたい。また連携幼稚園に行き、板登り遊具を作りたいと考えている。
2	生活力のためおやつの時間を使いそれぞれの児童にお手伝いの役割を与え、役割意識と自己肯定感・自己有能感を育てている。	司会やあいさつ、テーブル拭き、お茶入れ、配膳、雑巾がけ(身体作りも含む)などのお手伝いを毎日児童に担当してもらうことで、子どもが自分の役割として頑張る、また褒められることで自己肯定感や自己有能感が持てるようにしている。ご家庭でもお手伝いをしてもらうようになったとの声も聞かれました。	ささいなことでも子どもにとって役割を持つことは存在意義を感じる事が出来る大切な療育と考えているので、今後も役割を増やしていきたいと考えている。
3	身体作りだけではなく学校の学習のサポートや個別課題を行ったり描画や工作など余暇につながる取り組みもしている。	支援級の児童には宿題のサポートをし、サポートの中で気づいた学習の弱点な部分については理解出来るように支援したり、特別支援学校の児童についても必要な児童には字や数の学習も行っている。またご家庭用に教材も作成して渡している。また描画や工作など余暇につながる取り組みや個別教材も豊富にあるので、子供に選択してもらい、自分で過ごし方を選択しても	引き続き宿題のサポートと児童の特性に合わせたワークを取り入れるなどして言葉の理解や表現の仕方をもう少し出来るようにしていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お迎えしている学校数が多く、利用希望者が現在の学校以外の学校への送迎が出来ない。理解していただいた上で利用希望の場合は保護者の送迎をお願いしている。(帰りの自宅送迎は可能)	(経営的にも)車数が増やせないことと運転手数の不足。また放課後デイの定員が飽和状態である。	現状においては手立てがないので学校からデイの送迎を依頼して可能な限りは受け入れていく。もしくは利用希望の連絡が入った際に近隣の他事業所を紹介出来るように地域の資源を把握しておく。
2	多機能施設であるため児童発達支援と放課後等デイサービスを合わせた一日の利用定員数となっているので、児童発達支援の児童が卒園し放課後デイに移行を希望されても放課後デイの児童の方が在籍期間が長いので、年々移行可能人数が限られ少なくなっている。	地域全体として他事業所の放課後等デイサービスがいっぱいで不足している。相談支援専門員に他事業所紹介を依頼してもなかなか難しい状況となっている。	将来的に児童発達支援事業所を独立させ、児童発達支援の定員と放課後等デイサービスの定員の数を今より確保するかまたは放課後等デイサービスの事業所増設。
3	放課後等デイサービスでの身体障害児の受け入れが出来ていない。	放課後等デイサービスの定員がほぼ満員のため職員数も限られ安全な受け入れが出来ないことと、重度心身障害児(医療的ケア児含む)施設増設は決定しているが、まだ着手出来ていない。	法人として適切な人的補充及び配置をし、新施設への着手を開始する。